

新型コロナウイルス感染拡大に伴う父母からの質問に対する回答(Q&A)

No.	父母からの質問：Q (各関係部署の業務に関連した内容)	貴課の回答：A
1	Q.子供は3年生ですが、夏休み期間にインターンシップに参加することができないようです。夏のインターンシップに参加しないと就職活動に影響はありますか？に影響はありますか？	A.2021年度大学で実施したアンケートで回答があった263件のうち、夏(7月～9月)のインターンシップ(1DAY仕事体験を含む)に参加した割合は約79.4パーセント、一方秋・冬(10月～2月)に参加した割合は約16.7パーセントでした。夏のインターンシップは就業体験型、秋・冬は短期間で業界や企業理解を促進するものが多い傾向ですが、インターンシップに参加すると業界の面白さや自分の適性が見えてきます。季節にとらわれず、興味のある企業のインターンシップには応募してみてください。
2	Q.子供は今3年生で、将来は地元に戻って就職をすることを希望しています。地元の学生と比べ不利なのはと心配しております。今後Uターン就職活動をする子どものために、親として何かしてあげられることはありますか。	A.なぜ地元で就職をするのか、そこでどんな仕事がしたいのか具体的に説明できるように準備することが重要ですので、保護者の方は地元の経済事情や、企業動向等の情報収集にご協力ください。また、Uターン就職活動は、これまで移動に伴う負担がありましたが、オンライン選考が促進されたことにより選考に参加しやすくなったケースもあるようです。大学では、働きやすさ、収益性、成長性、安定性、独立性、適応性等、独自の基準で厳選した“優良企業”を紹介しています。
3	Q.公務員と民間企業の併願を検討していますが難しいでしょうか。	A.公務員の採用試験の受験勉強をしながら、民間の就職活動をするのは大変です。ただし、それぞれのスケジュールを事前に把握し、計画的・効率的に進め両立できた先輩の事例も多くあります。ぜひ、早い段階で、就職・キャリア支援室の就職相談もしくは公務員相談を受けていただくようお子さんにお伝えください。
4	Q.子供がオンラインで採用試験に臨んでいます。住環境が好ましくなく、十分なスペースを与えてあげられず、心苦しいですが、オンライン面接で好印象な環境などがあればご教示願います。	A.オンライン面接においては、安定的なWi-Fiと静謐な環境が望ましいとされており、面接の際には画面に部屋の背景が映り込みますので、可能であれば壁側を背景にする、表情が明るく見えるように明るいライトをつけるなど工夫をされることをおすすめいたします。また、2021年より白山キャンパスに設置された、個室防音ブースも、予約の上ご利用いただけます。
5	Q.子供がPCを持っておりません。スマートフォンやタブレットで企業のオンライン選考に臨めるでしょうか。	A.企業に自身の様子を確実に伝えること、音声をはっきり伝えることを担保する必要があります。それが可能であればスマートフォンやタブレットでも選考には臨めます。但し、それらを使用する場合、机などに固定できるホルダーなどを用意した方が良いでしょう。
6	Q.子供の就活状況が周囲と比べて進んでいるのか遅れているのか把握できません。親としてどのような支援をすればよいでしょうか	A.就活のスケジュールは業界や業種、企業によって異なりますのでまずはお子さんに就職活動の進捗状況をご確認ください。お子さんが困っている、行き詰っている様子でしたら就職・キャリア支援室の就職相談を受けるようアドバイスしてあげてください。
7	Q.新聞やネットニュースで就職活動の早期化やインターンシップ経由の内定が多くなると書かれているのを見ました。4年生の子供が今から就職活動を始めるのは遅いのでしょうか。	A.就活のスケジュールは業界や業種、企業によって異なりますのでまずはお子さんに就職活動の進捗状況をご確認ください。お子さんが困っている、行き詰っている様子でしたら就職・キャリア支援室の就職相談を受けるようアドバイスしてあげてください。
8	Q.希望しない職種や勤務形態の企業から内定が出て、子供が就職活動をやめてしまいました。どうすればよいでしょうか。	A.まずはお子さんの、内定先の企業の志望度を確認してみてください。お子さんの志望度も低いようでしたら、就職活動のピークが過ぎた後であっても、大学には求人が届いていますので、あきらめず納得のいく結果が得られるよう就職活動を継続できるようサポートしてあげてください。
9	Q.子供が留年をしています。就活には不利でしょうか。	A.留年したことでマイナスの印象を与えないか心配し、自信を失う必要はありません。企業の求める人材に合致していて、志望度も高ければ結果はついてきます。留年するほど没頭できる「何か」があったこと、留年の原因を克服した努力について説明できるよう準備しておくようアドバイスしてあげてください。
10	Q.障がいがあり、どのように就職活動を進めればよいかわ悩んでいるようです。	A.障がいのある方のために、一般採用枠とは別に「障がい者採用枠」が設けられている企業もあります。一般採用枠よりも間口が開かれている点や、障がいへの理解や配慮がある、といった点に特徴があります。一般採用枠では障がいについて聞かれる場面はありません。障がい者採用枠では、自身の障がいの症状や働く上で必要な配慮について具体的に伝えられるよう、準備が必要になります。障がい者の雇用についてはポータルサイトで、大学に届いた情報を配信しています。その情報をご確認いただくとともに、不安な点については就職・キャリア支援室に相談するようお子さんにお伝えください。